

テスト監督に行って「びっくり」!

4日間の学年末考査が終了しました。テスト監督では、日ごろ授業では行かないホームルームにも行きました。そこで、「びっくり」はおこりました。

機械電子科のHRでの監督です。男子生徒ばかりで、「汚いんだろうな〜」(ごめんなさい) と思っていくと、なんとゴミ1つ落ちていないではありませんか! HRの中を見回すと、掲示物は、左右きちんと押しピンできちんと貼られています。なんと整然とした教室なんだろう! 「流石! もの作りをする人間は、工場ばかりではなく、身の回りの環境にも心遣いがあるんだな」と感心しました。

テスト監督の帰り、隣の農業経営科のHRの床はどうなのかとのぞくと、ここもまた綺麗! すばらしい!

残念ながら、第三者委員から指摘されたように、HRの床にたくさんのガムのカスのようなもの、プリントが丸めて捨てられていたり、黒板の溝がチョークの粉で一杯、黒板に何かの張り紙で一杯、掲示物が破れていたり…のHRもありました。

自分たちのHRの環境について、綺麗な環境にするためにはどうしたらいいのか、具体的にどんな方法でするのか、一度、自分たち自身で、クラスで、話し合い、考えてください。そして、クラスごとにアピールしてください。

「時を守り、場を浄め、礼を正す」という、教育学者として著名な元神戸大学教授の森信三先生の言葉があります。この言葉は、子どもたちだけでなく、我々、大人でも、社会人として、また、人間としても大切なことを教えています。子どもは親や教師を見て育つと言われます。我々大人が率先垂範して、取り組んでいきたいものです。

「時を守る」時間を守ること。時間を守ることは、相手を尊重すること。そのことにより、自分が信用を重ねること。

「場を浄める」掃除をすること。掃除をすることの意味は5Kで表され、**気づく人**になれること。**きれいな場所**にする。**心を磨く**。**謙虚**になれる。**感動の心**をはぐくむ、**感謝の心**が芽生えること。

「礼を正す」あいさつをすること、返事をすること。あいさつをすることの意味は、心を開いて相手に迫ること。

- 1) 名前を読ばれたら、ハイ! と大きな声で返事をする
- 2) 朝は、おはようございます! と大きな声であいさつをする
- 3) 靴を揃える、さげたイスをきちんと元に戻す

当たり前のことが、**当たり前**にできる、
「凡事徹底」を君のクラスでやってみよう!